

# 進路通信

大東市立住道中学校  
進路指導通信  
令和2年7月31日  
第5号  
校長 岡本 功  
進路主事 林 光彰

## 進路学習での質問

Q1：偏差値について

A：学校では出していません。偏差値は分母（テストを受けている生徒）が大きくなれば意味がないからです。基本、中学校単位で出しても正確性はありません。

Q2：コロナに関して、入試はどうなりますか。

A：今のところ、2月10日（私学入試）、2月18・19日（特別選抜）、3月10日（一般選抜）の日程は、変更はありません。もしも、コロナにかかった場合は、別日を設けています。ただし、別日に受験できない生徒に対しては、今年の方針がまだ出ていません。

Q3：特別選抜とは何か。

A：特別選抜とは、体育科、音楽科、美術科、エンパワメントなどの特殊な学科の選抜入試をさします。特色のある授業があり、選抜試験では、筆記テストと実技試験があります。事前に準備（高校が行っている説明会や実技指導などに参加はもちろん、学校で教科担当の指導が必要です）が必要な学科です。

Q4：公立高校での成績の扱いについて

A：当日のテストはもちろん、中学校での1・2・3年生の年間評定が必要になってきます。評定の割合は、1年生20%・2年生20%・3年生60%で点数化されます。受験校が選択している学力検査のタイプによって変わりますが、トータル900点満点で可否の判定が行われます。

Q5：私立高校で希望学科以外で合格はあるのか。

A：希望を願書で聞く学校もありますが、転科合格（希望を書いていない学科）がある学校もあります。大きく変わる学科（普通科から国際科など全く違う学科）の転科はありません。

Q6：専願・併願・単願の違い

A：【専願】私立のみを受験で合格した場合は、その学校に行くことが条件です。そのため、併願とは別の合格の判定がされているので、有利になっています。  
【併願】公立が優先になっているので公立が合格した場合、私立に合格していても公立に進学します。  
【単願】公立のみの受験は、一発勝負になってしまうので不安が大きいです。体調不良では、別日の受験は出来ないのでは体調が悪くても受験しないといけません。自分の力が発揮できなくて悔いが残ってしまいます。基本、学校では併願をお勧めします。

Q7：委員とかクラブ活動は、入試に関係ありますか。

A：私立には一部関係する学校はあります。公立高校では、自己申告書で何のクラブでどんな大会に出たとかではなく、どのような中学生活でどんな体験をし、どんなことを学んだか、高校生活にどのように活かしていくかなどが重要です。

Q8：入試の試験範囲の縮小について、私立はどうなるか。

A：公立高校は大阪府教育委員会ホームページで発表している通り範囲は縮小されています。私立には、大阪府教育委員会からお願いはしているが、すべての学校が公立と同じ範囲にするかはまだ、わかりません。  
※卒業までには、教科書の内容はどの教科も終わる予定です。安心してください。

Q9：ボーダーゾーンとは

A：100人の定員の合格者の決め方として、①成績順に110人を選びます。②上から成績順に90人まで合格とします。③残り20人の中から自己申告書の内容からその学校のアドミッションポリシー（学校が望む生徒像に合致しているか）で最大10名を決めます。ただし、内容によっては0人の場合があります。④定員に満たしていない場合は、成績順に並べ定員の足りない人数を合格となります。

Q10：塾はいつから行けばいいか

A：自分が必要だと思った時に通えばよいです。塾に通わなくても、学校で分からないことは教科の先生に夏休みなどを利用して聞きましょう。ただし、先生も予定が入っていることもあるので、事前に予約しておきましょう。

Q11：模試などの判定について

A：模試はあくまで参考です。A判定が出ていても絶対ではありません。受けている人数なども関係しているので、自分の考えやいろいろな人の話や考えを参考にしましょう。とにかく、自分の目を見て、3年間通う学校を見定めて下さい。

Q12：勉強の仕方

A：1学期・夏休みまでに、1・2年生の内容（基礎基本）の定着、2学期は問題の数をこなして、問題の聞き方や考え方を学びましょう。それが出来ている人は、自分の受ける学校の問題を解いて傾向と対策を立てましょう。

Q13：出願について

A：出願方法には2つあります。インターネット出願と書類（志願書・入学願書）での出願です。少しずつインターネット出願が増えてきています。

※自分の進路です。人任せにしないで、自分で最終決定してください。そのために、学校説明会やオープンキャンパスなどに参加して、この学校なら3年間頑張れる、通える学校を見つけて下さい。悩んでいる人は、友達が行く学校説明会などに一緒に参加するのも一つの方法だと思います。この夏休みに多くの学校を見てきてください。多くの学校は、コロナの関係で入場制限や申し込みが必要な学校が増えているので、ホームページで確認してから申し込みましょう。

この夏が勝負になります。  
メリハリをつけて勉強をしましょう！！

# 公立高校の入試のタイプや問題の難易度、アドミッションポリシーについて

※大阪府教育委員会ホームページで発表されています。全てを載せることはできませんが、変更があったものを一部載せておきます。

## ①府内の学校の当日のテストと調査書の比率

倍率のタイプ	学力検査の成績に かける倍率	調査書の評定に かける倍率	参 考		
			学力検査の満点	調査書の満点	総合点
I	1.4倍	0.6倍	630点	270点	900点
II	1.2倍	0.8倍	540点	360点	
III	1.0倍	1.0倍	450点	450点	
IV	0.8倍	1.2倍	360点	540点	
V	0.6倍	1.4倍	270点	630点	

## ②国・数・英の問題の難易度（受検する高校によって決まっている）

（注3）一般入学者選抜における問題の種類及び特徴

種 類	特 徴		
	国 語	数 学	英 語
A （基礎的問題）	基礎的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題や、国語に関する基礎的な知識を問う問題を中心に出题する。	基礎的な計算問題を出题するとともに、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の基礎的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法の理解を問う問題とともに、基礎的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
B （標準的問題）	基礎的・標準的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題を中心に、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題をあわせて出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の基礎的・標準的な事項についての理解を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 基礎的な語彙・文法についての理解を問ううえで、基礎的・標準的な内容の英文を読み取る力を問う問題を中心に出题する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題を中心に出题する。
C （発展的問題）	標準的・発展的な内容の文章を正確に理解する力を問う問題とともに、問われたことがらについて適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。	「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の標準的・発展的な事項について、数学的に処理し判断する力を問う問題を中心に出题する。	〔筆答〕 標準的・発展的な内容の英文の中から、話題や論理の流れに沿って必要な情報を素早く読み取る力を問う問題とともに、一定量以上のまとまりのある内容を英文で適切に表現する力を問う問題を中心に出题する。 ※問題文は、指示文を含め、すべて英語で構成する。 〔リスニング〕 自然な口調で話された英語からその具体的な内容や必要な情報を聞き取る力を問う問題とともに、「読む・聞く・書く」技能を統合的に活用する力を問う問題を出题する。

## ③アドミッションポリシー（一部）

学校名	アドミッションポリシー	選抜の種類	学力検査問題の種類			倍率のタイプ
			国語	数学	英語	
寝屋川	本校は、100年を超える歴史に培われた伝統を誇り、自主・自立の意気高く明るくのびやかな校風で、部活動がとても活発な学校です。「真善美」を校訓に、「鍛える・見守る・高める」の教育方針のもと、国公立大学への進学を叶える学力を育むとともに、部活動・行事などを通じて命を輝かせることの素晴らしさを体験させることで、知徳体のバランスが取れた豊かな人間力の育成に取り組んでいます。  1) 寝屋川高校に大きな魅力を感じ、強いあこがれを持っている生徒 2) 大きな夢を持ち、その実現に向けてひたむきに努力する生徒 3) 優れた特性と豊かな感性を持ち、仲間とともに高め合うことができる生徒 4) 知的好奇心や探究心が旺盛で行動力のある生徒	般	B	B	B	I
野崎	本校は、生徒の自己実現を最大限に支援する学校です。このため、生徒に校訓である「自律・自主・創造」の体現を求めています。あわせて、思いやりの心や人権尊重の精神など豊かな人間性の育成にも力を入れています。よって、将来に夢を持ち、日々の学校生活（授業・行事・部活動など）に積極的に取り組もうとする生徒を歓迎します。  1) 規範意識と自律心を持って規律ある行動と生活をする生徒（自律） 2) 自らの将来を設計し、自己実現に向けて主体的に努力する生徒（自主） 3) 命の大切さを自覚し、やさしさや他者への思いやりを持ち、豊かな感性を身につけた生徒（創造）	般	A	A	A	III
花園	本校は、普通科と国際文化科を併設し、「誠実」「努力」「協調」を校訓として掲げています。『生徒も教職員も生き生きと学び続ける学校』として、高校生活において積極的に、学習・学校行事・部活動・国際交流・ボランティア活動等に取り組み、確かな基礎学力を身につけ、人とのつながりのなかで自分を成長させ、たくましく、しなやかにグローバル社会を生き抜く力を身につける、そんな生徒を育てたいと思っています。  1) 人として、当たり前のことを当たり前でできる誠実な生徒 2) 高い志を持ち、自分の進路を切り拓くために努力を惜しまない生徒 3) 人とのつながりを大切にし、協調して前に進もうとする生徒 4) グローバル社会の一員として活躍するため、外国語でのコミュニケーション能力を磨き、自文化・異文化に積極的に関心を持つ生徒 5) 英語を使って情報を発信したり、自分の意見を発表したり、意見を交換することに意欲的に取り組める生徒（国際文化科志望者）	般	B	B	B	II

この夏休み、多くの学校を見学してください。  
その中から自分の進路を見つけてください。